

山藤房子（やまとう こじこ）、本名・山藤千賀子（やまとう ちかこ）。大正十九年（一九三〇年）に、『山藤房子の小説』（新潮社）として、文部省圖書監視課による禁書に指定された。これは、當時の女性小説家が、社会問題を題材とした小説を多く書いたことによる。山藤房子は、この禁書に対する抗議として、『山藤房子の小説』（新潮社）を改題して『山藤房子の小説』（新潮社）として再版した。この改題版は、『山藤房子の小説』（新潮社）として、文部省圖書監視課による禁書に指定された。これは、當時の女性小説家が、社会問題を題材とした小説を多く書いたことによる。

山藤房子（やまとう こじこ）、本名・山藤千賀子（やまとう ちかこ）。大正十九年（一九三〇年）に、『山藤房子の小説』（新潮社）として、文部省圖書監視課による禁書に指定された。これは、當時の女性小説家が、社会問題を題材とした小説を多く書いたことによる。山藤房子は、この禁書に対する抗議として、『山藤房子の小説』（新潮社）を改題して『山藤房子の小説』（新潮社）として再版した。この改題版は、『山藤房子の小説』（新潮社）として、文部省圖書監視課による禁書に指定された。これは、當時の女性小説家が、社会問題を題材とした小説を多く書いたことによる。

